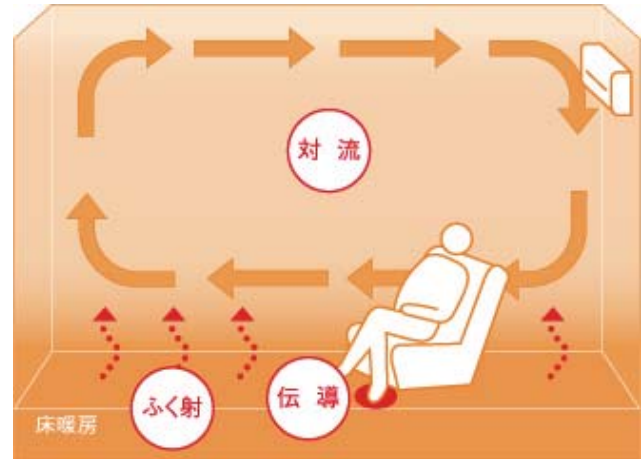


# ガス温水式床暖房のご紹介

## 床暖房は「ふく射」と「伝導」による暖房です

赤外線が身体や壁を温めることを「ふく射」といい、身体が床に直接触れて暖まることを「伝導」といいます。床暖房は「ふく射」と「伝導」で、身体もお部屋もしっかりと暖まります。

※エアコンは、温風を強制的に循環させる「対流」による暖房です。



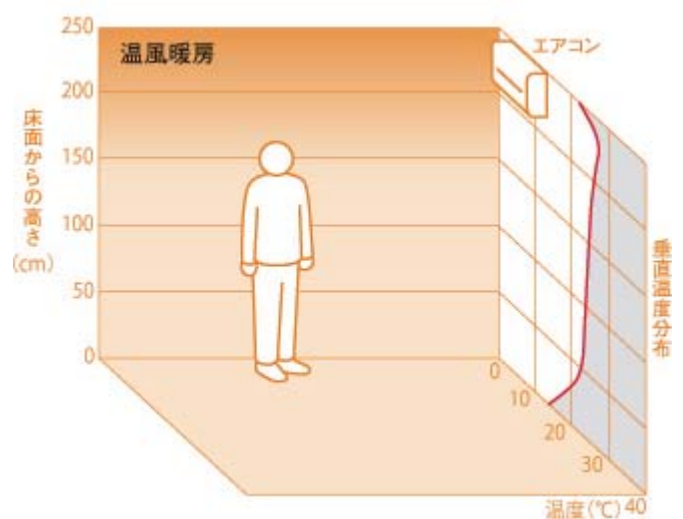
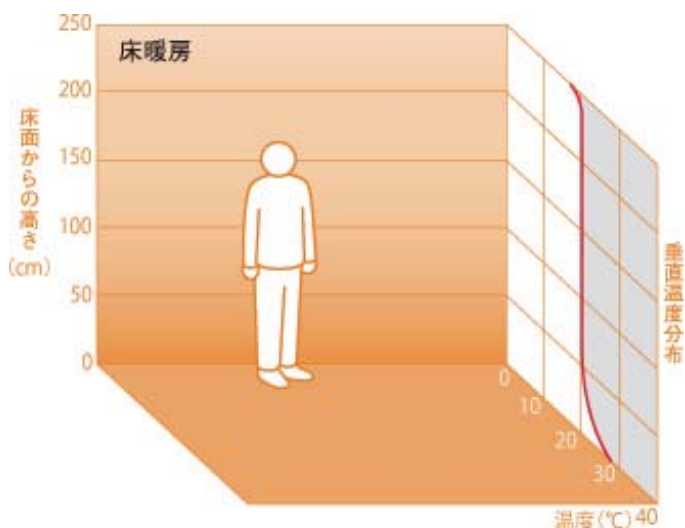
## 理想的な「頭寒足熱」を実現します

ガス温水式床暖房なら、一番温度の高い床面が約 25 ~ 30℃、そこから天井までの室温はふく射で全体が暖まって約 20℃。床からの伝導によって、足元はぽかぽかとした暖かさです。

室温はさほど高くなくても満足感の得られる暖かさで、頭寒足熱を実現します。

一方、温風暖房（エアコン）は、温風が当たるところの温度は高くなりますが、暖まった空気は上昇し、床付近には冷たい空気が残るので、室温にムラができます。

快適に長時間暖房できるのが、ガス温水式床暖房ならではのメリットです。

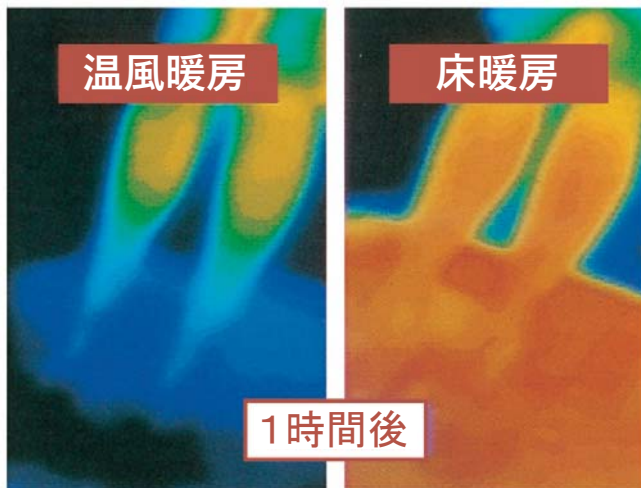


## 身体を芯から暖め、乾燥は少なく、お部屋はクリーン

ガス温水式床暖房は、足元から穏やかな暖かさが得られ、部屋全体もムラなく暖まります。熱源機は屋外にあるので、室内は音もなく静かで、お部屋も広々とお使いいただけます。お肌の乾燥は少なく、お部屋はクリーンです。

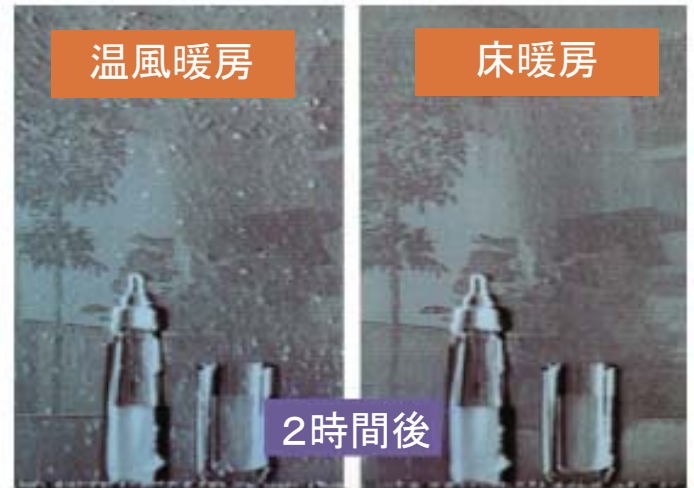
温風暖房（エアコン）は温風で暖めるため、ホコリの舞い上げやファンの運転音、乾燥、霜取り運転による一時的冷風などがあります。

### ■室内での温度分布の比較



暖房開始1時間後、ソファに腰掛けた女性の足元の温度分布です。温風暖房（エアコン）は冷たくなっていますが、床暖房は床面も足元も暖まっていることがわかります。

### ■室内での温度分布の比較



室内の空気をかきまわし、スーパーアイ映像で観察しました。2時間後、床暖房では空気中のホコリがおさまっているのに対して温風暖房（エアコン）はホコリが舞っています。

### ■肌の水分量の変化を比較



肌の水分量測定装置で、女性の肌の乾燥具合を測定しました。床暖房の数値は2時間の間、一定です。温風暖房（エアコン）は、6割近くダウンしています。肌から水分が奪われていることがわかります。

## 今お使いの床にも施工できます

床の上に貼るだけのタイプがありますので、簡単にガス温水式床暖房をお使いいただけます。また、お部屋のイメージに合わせて床仕上げ材をお選びいただけます。塩ビシートや畳、タイルなど、思い通りのインテリアに仕上げることができます。

